

2025 山スキー学校報告

山スキー学校第1弾・ブランシュたかやまスキー場と根子岳 2025年1月25日～26日

1日目は、ブランシュたかやまスキー場で、山スキーにシールをつけて登ったり、シールを外して斜面を滑り降りたりするトレーニングを行いました。夜は、山スキーの魅力と危険、用具の使い方について机上講習を行いました。



2日目は、菅平の奥ダボススキー場のリフトを使い、リフト上から根子岳を往復しました。急な



斜面もないので、山スキーが初めての方もみなさん楽しく登れました。滑降も、雪がそれほど深くない最高の粉雪で、抵抗がなく、初めての方もルンルンと滑り降りることができました。みなさん満足して、幸先のよいスタートとなりました。参加人数は、講師、受講者、一般合わせて15人でした。

山スキー学校第2弾・雪崩講習と前武尊 2025年2月23日～24日

1日目は、土合山の家近くの山野で、雪崩に遭遇した場合の捜索訓練を行いました。最初に、雪の断面観察を行いながら、弱層テストを行いました。次に、ビーコンとプローブとスコップを使った埋没者捜索を行いました。ファインサーチの時にビーコンの向きを変えてしまったり、速く動かし過ぎてしまったりして、上手く埋没者が発見できない方も多く、何回か繰り返してトライしていました。その後、宿に戻り、机上で、雪崩対応について勉強しました。



2日目は、オグナ武尊スキー場トップから上州武尊山を往復しようと頂上に向かいま

したが、急斜面が上手く登れない人も多く、時間がかかり、天候も良くないので、途中撤退しました。撤退時にコースを外れ下り過ぎて、トラバースしてコースに戻り、1時間近く余計に時間がかかったグループもありました。参加者は16人でした。



山スキー学校第3弾・かぐら峰と平標山 2025年3月8日～9日

1日目は、かぐら峰のトップ、第5ロマンスリフトの上からかぐら峰を往復する予定でしたが、リフト休止のため、反射板方向からゲレンデまで非圧雪を滑りました。机上講習は、冬山と天気と地図の見方でした。



2日目は、平標山やカイ沢沿いに登り、右の支尾根に取り付き、稜線に出たあと、左に平標山に登る予定でしたが、強風のため、稜線手前まででやめ、そこから同じルートで滑り

降りました。雪は少しずつ硬くなって来ているものの、深雪になっているところもあり、注意しながら滑りました。林道に出てからは、斜滑降や直滑降で一気に駐車場まで滑り降りました。参加者14名でした。



山スキー学校第4弾・蓮華温泉 2025年3月22日～23日

今回は、我が国を代表する山スキーツアールートである柵池・天狗原・蓮華温泉・木地屋コースへのチャレンジだ。山中の山小屋に泊まり、総行動距離25キロに及ぶロングコースと聞いて、期待とともに不安も多かったと思うが、全員頑張り、予定のコースを完遂することができた。



昨シーズンは、雪不足のため春の営業を断念した蓮華温泉だったが、今年は雪はたっぷりありその心配はない。逆に、大雪のためか水道・温泉施設に不具合が見つかり、営業開始の判断がギリギリとなったが、無事営業開始。露天風呂はまだ利用できないが、温泉は男女別にゆったりと入ることができ、山上の極楽気分を味わうことができた。

たっぷり過ぎる雪で、残雪期スキーとしては滑りにくい部分もあったし、斜滑降の連続に苦勞した人もいたが、まずまずの天気に恵まれ、ロングルートを楽しむことができた。多くの参加者にとっても、ロングルートを完走できたことで自信になったものと思われる。参加者 16 人。

山スキー学校第 5 弾・月山 2025 年 4 月 12 日～13 日

今年度の山スキー学校の最後を締めくくるのは、月山。1 日目は、営業開始したばかりの月山リフトを使い月山頂上往復だ。リフトを降りて、少し滑走したところでシールをつける。トラバースしながら、あまり高度を落とさないようにしながら上部斜面に向かう。上部はだんだん急になって来るが、クローを使いながら、スキーを背負うことなく頂上まで登ることができた。時間も早いので、月山東面を標高差 150m ほど滑り、登り返す。この滑降は、「山スキーをやっていて本当に良かった」と思わせるような快適な滑降であった。月山頂上からも快適に滑り、その後リフトまでは登り返しのない

ようにトラバースして進む。リフト頂上からは、リフト脇の沢コースを滑る。

2 日目は、姥ヶ岳に登り、石跳沢を志津まで滑る予定でだったが、石跳沢上部が全層雪崩のデブリで埋まったという情報があり、天気もガスと強風となって来たので、姥ヶ岳頂上からリフト側に滑り降り、沢コースから宿に戻った。その後、志津温泉につかり、埼玉までの長い帰路につく。参加者 17 人。



総括

今年の山スキー学校は、以上、1 泊 2 日、5 回の山行を行いました。9 人の受講生の中で、4 回以上参加したメンバー 6 人には「修了証」が授与され、全員の拍手でそれをお祝いしました。今回、残念ながら「修了証」までは届かなかった受講者の皆さんも、来年には授与されるよう、是非頑張ってください。最初は、様々な場面でどう行動して良いのかわからなかった受講生の皆さんも、徐々に山スキーに慣れて来て、見違えるように逞しくなって来たと思います。この成長を力にして、来年度以降も山スキーを楽しんで行ってください。

下記をクリックすることで山スキー学校のハイライトの視聴ができます。

[埼玉労山山スキー学校ハイライト](#)